

2023.11.25 SAT.

13:30~15:00

TALK GEO CAFE



おんせんは たいへん

in 河津温泉郷

物語のある温泉の価値を未来へ

川端康成の小説
「伊豆の踊子」
執筆の舞台裏は
こんなだったのよ

福田家旅館 女将
稲穂 照子さん

SPACの観光演劇
「伊豆の踊子」
製作の舞台裏は、
こんなだったよ

SPAC-静岡県舞台芸術センター
伊豆の踊子 薫役
河村 若菜さん

共催 静岡県温泉協会 × 美しい伊豆創造センター 協力 河津町

〰〰〰 おんせんはたいへん

～物語のある温泉の価値を未来へ～

登壇者

稲穂 照子 湯ヶ野温泉 福田家 女将
河村 若菜 SPAC-静岡県舞台芸術センター 俳優
赤池 勇治 日本温泉地域学会 理事
ファシリテーター
辻 修次 伊豆半島ジオパーク研究員

静岡県内の共同湯を
調べているよ!

右手に飲泉カップ、
左手に湯温計を持ち、
国内外の温泉を
巡っています

文豪川端康成が滞在し、伊豆の踊り子を執筆した河津温泉郷の宿、福田家。小説の中で描かれるシーンはこの宿のある湯ヶ野をモデルにしていると言われています。この土地を文学とゆかりの深い場所として未来につなげていきたい、そうした思いを持つ女将。そんな中、静岡県の劇団 SPAC は今年、観光演劇「伊豆の踊子」を発表しました。過去の大切なものを時代と共にどう未来へつなげていくか、今がもう一度考えてみるチャンスかもしれません。

ところで小説の中で、主人公の青年に踊子が大きく手を振る印象的なシーンがあります。ちょうど福田家旅館の川向こうに、そのシーンを思わせる共同湯が、今でも地域の人たちに親しまれて存在しています。温泉地の地元らしい佇まいを持つ共同湯は温泉好きにとって魅力的なのはもちろんですが、この湯ヶ野では文学的に特別な場所でもあります。訪れる人にとっても地域にとっても良い温泉場であるにはどのようなことを考えていけばよいのか、そんなことも話題にします。



日本温泉地域学会理事
赤池 勇治さん

文化的視点から
ジオパークを
解剖中!




伊豆半島ジオパーク
文化系専任研究員
辻 修次さん

ご希望者を対象に当日 10時から 12時
七滝温泉ホテル見学と滝ツアーを行います




七滝温泉ホテル 主人
上村和正氏さん

お申込先

お申込フォーム 
-社) 美しい伊豆創造センター ☎ 0558-72-0520
静岡県温泉協会 ☎ 054-221-3281



当日の様子はライブ配信予定です。YouTube チャンネル@izugeo チャンネル登録してね。 

会場

湯ヶ野温泉 福田家旅館 
〒413-0507 静岡県賀茂郡河津町湯ヶ野 236

定員

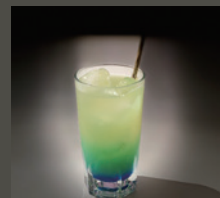
30名

モクテル (ノンアルコールカクテル) 一杯
& 当日入浴券
(福田家あるいは七滝温泉ホテル)

参加費

1,500円

が付きます



河津七滝をイメージしたモクテル

2023.
11.25
SAT.

in 河津温泉郷